

地域密着型金融推進計画

渡島信用金庫

1. 計画期間

平成 17 年度～平成 18 年度(平成 17 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)(2 年間)

2. 経営理念

1. 地元とともに使命の発揮
1. 信用・信頼による健全経営
1. 役職員の融和と人材育成

当金庫は、明治 44 年(1911 年)の創業以来、北海道の金融機関の中で最古となる 94 年の歴史を歩んで参りました。この歴史を通じて脈々と流れてきたのは、地域の皆様とともに、地域社会の発展に貢献するという理念です。この理念である相互扶助の精神を再確認し、協同組織金融機関としての社会的役割を全うすべく業務に邁進いたします。

当金庫が長期的に発展していくためには、信用金庫経営の原点に立ち返って、地域の方々や会員の皆様からの支持と信頼関係を確立し、地域社会との共存共栄を図る必要があります。

永年の歴史に裏付けられた地域の皆様からの信用を大切にしつつ、地域へ円滑かつ持続的に金融サービスを提供し、地域社会・地域経済の発展に貢献していくことが、当金庫の社会的使命であると認識しており、従来以上に積極的な経営をはかってまいります。

3. 経営方針

- (1) 自己資本の充実、各種リスク管理の徹底および経営全般にわたる効率化、合理化に努め、強固な経営体質を構築することにより、地域の皆様から信頼される金融機関となるよう努めて行きます。
- (2) 地域金融機関として、地域活動への参画、地元中小企業への支援、地域社会への貢献を通じ、地域の皆様とともに豊かな地域社会づくりに努めて行きます。
- (3) 柔軟な発想と豊かな人間性を備えた人材を育成することにより、高いモラルと誠意をもって皆様のご要望にお応えするために、質の高い総合金融サービスの提供に努めて行きます。

4. 基本目標

- (1) 相互扶助の精神を基本理念とし、地域から必要とされる金融機能を充実させ、田舎型の渡島信用金庫に特化してまいります。
- (2) 社会貢献活動に重点をおき、地域や取引先の金融ニーズに応えるため、地場産業である噴火湾ほたて養殖漁業者の方を対象とした、ほたて耳づり資金「春一番」最長 40 年の返済を可能とした、住宅ローン「活」、個人の負債整理支援を目的とした「お困りの方どうぞローン」、新たに創業を計画する事業者の育成を支援する融資商品「K I T A I」（期待）、事業活性化支援資金「楽ちん」等の独自性ある融資商品を推進してまいります。
- (3) 地域経済の活性化のため、あらゆる経営資源や経営者などの発掘にチャレンジし、営業地域について、噴火湾地区（主力地区）、檜山地区（準主力地区）、函館地区（シェアアップ地区）として、店舗戦略および人員強化などをはかり、業種別についても、基盤産業である第一次産業、特に漁業や漁業関連産業の支援を強化してまいります。
- (4) 協同組織金融機関である信用金庫としての特性をはかるため、地域ぐるみとしたコーポレートガバナンスを確立することで、経営の健全化をはかってまいります。
- (5) 人材育成と確保を経営の最大課題とし、「地域へ感動を そして未来へ」を合言葉に、役職員の融和を提唱し、顧客満足度に挑戦する人材の育成をはかってまいります。

5. 推進計画の概要

- (1) 事業再生・中小企業金融の円滑化
 - ・創業・新事業支援機能等の強化
 - ・取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化
 - ・事業再生に向けた積極的取組み
 - ・担保・保証に過度に依存しない融資の推進等
 - ・顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化
 - ・人材の育成
- (2) 経営力の強化
 - ・リスク管理態勢の充実
 - ・収益管理態勢の整備と収益力の向上

- ・ガバナンスの強化
 - ・法令等遵守（コンプライアンス）態勢の強化
 - ・ITの戦略的活用
- (3) 地域の利用者の利便性向上
- ・地域貢献等に関する情報開示
 - ・地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立
 - ・地域再生推進のための各種施策との連携等
- (4) 進捗状況の公表

以 上